

【令和8年度予定】 「沖縄先端医療技術基盤形成促進事業」に係る情報提供

沖縄県では、先端医療技術の実用化に向けた研究支援等を行う事業を予定しております。

ついては、令和8年度実施予定の事業の公募に際し、応募予定者の事前準備の参考となるよう、下記により方針等を情報提供いたします。

なお、本掲載事項はあくまでも参考であり、令和8年度当初予算の成立が前提となっております。今後、内容変更の可能性もありますので、ご留意ください。

公募資料は、令和8年4月1日以降に県HPにて掲載いたします。

1. 事業目的

地域振興の大きな核となる新たな産業分野の創設及び国際競争力を有するイノベーション・エコシステムの構築を図るため、先端医療技術のシーズ掘り起こしや実用化を見据え基礎研究から社会実装までの橋渡し研究に対する支援を行う。

※先端医療とは、従来の医療の枠を超えた診断・治療・予防などの革新を目指す高度な研究・技術をはじめとして、従来の医療の改善を見据えた医薬品や医療機器等の研究・開発も含む総体。

2. 支援対象となる研究内容

(1)ステージ1（基礎研究）：予定補助上限額25,000千円程度、採択予定数5件程度

※社会実装を見据えた技術シーズの発掘・育成段階

(2)ステージ2（応用研究／非臨床）：予定補助上限額50,000千円程度、採択予定数2件程度

※医療応用を見据えて実用的形態に展開する段階

(3)ステージ3（開発研究）：予定補助上限額100,000千円程度、3-1及び3-2あわせて2件程度を採択予定

①ステージ3-1（臨床）

※ヒトを対象とした臨床研究や治験など、医療現場での検証・評価を通じて安全性・有効性・実用性を確認する段階

②ステージ3-2（実装）

※先端医療技術を活用した製品・システム・サービスの実装を具現化する段階。社会実装に向けて許認可等に必要なデータ取得や実証試験を実施することで、有効性・実用性を確認する段階。

3. 申請対象者

応募は、県内研究機関単独又は県内研究機関を含む共同体を想定。

ただし、共同体には県外研究機関を含むことは可能であるものの、本事業に係る主たる研究開発は県内で実施すること。

※県内研究機関等とは、沖縄県内大学・高専又は県内に本社や支社、研究施設等を有する（又は令和9年2月頃まで本社・研究施設等を県内に設置する見込みのある）企業・大学等。

4. 補助内容

①補助率：大学等公的機関 10/10（定額）、企業等 8/10

②補助期間：最長3年を想定（継続の可否は評価委員会等の意見を踏まえ総合的に判断）

※ただし、継続に関しては国及び沖縄県の翌年度の予算成立が前提

5. 採択後の支援

採択後は、各研究テーマについて、沖縄総合事務局から委託を受けた支援機関やアドバイザーボードによるアドバイスを踏まえて、他の研究機関等とのマッチングも含めた研究体制・方法の見直しやビジネスモデルの再構築等、内容のブラッシュアップに努めていただく必要があります。

*本掲載事項は、沖縄県が国の令和8年度当初予算の成立を前提に、事業の概要や検討用資料として参考情報をご提供するものです。今後の審議の結果、事業内容、実施時期、補助水準等について変更または中止となる可能性があります。そのため、本資料の内容を基に行われる準備活動（スケジュール調整、機器発注、人員配置等）に係る一切の費用や損害については、一切責任を負いかねます。

問い合わせ先：沖縄県科学技術振興課 イノベーション創出支援班 aa012100@pref.okinawa.lg.jp